

郡山市公共施設等総合管理計画

個別計画

(図書館編)

2018年(平成30年)3月

郡山市

所管課

中央図書館

第1章 概要

(1) 目的

本計画は、**2016年（平成28年）3月**に策定した「郡山市公共施設等総合管理計画」に基づき、施設類型ごとの具体的方針を示すものです。

(2) 対象施設

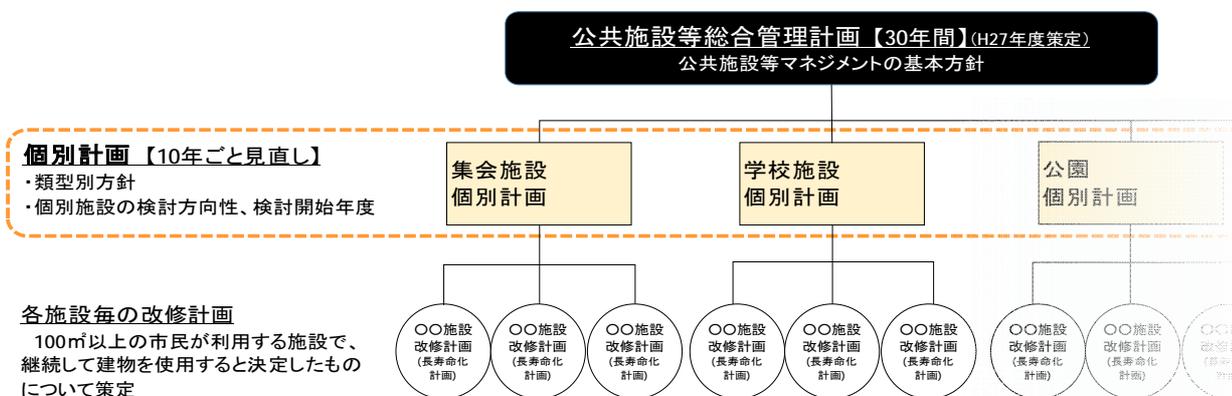
- ① 本計画は、「郡山市公共施設等総合管理計画」に定める「図書館」の施設類型の全ての施設（**2018年（平成30年）3月31日**までに竣工予定のものを含む。）を対象とします。
- ② 「図書館」は、主に図書、記録その他必要な資料を収集して整理保存するとともに、市民が閲覧するための施設を対象とします。
- ③ なお、本市所有資産（建物等）による施設のほか、借用建物や複合施設等を含みます。

(3) 計画期間

2018年度（平成30年度）から2025年度（平成37年度）まで
ただし、社会情勢等により変更が生じた場合は、都度見直しを行い、郡山市公有資産活用調整会議で調整の上、本計画へ反映させるものとします。

(4) 計画の進行管理

今後は、本計画に基づき、毎年度**PDCA**管理して計画の進捗管理を図ることにより、施設の見直しや計画的な改修等に努めていきます。



第2章 公共施設等の現況及び将来の見込み

(1) 保有資産の状況

No	施設名称	行政管区	運営	所有	建築年度	経過年数	構造	延床面積(m ²)	耐震	備考 (複合化状況等)
1	中央図書館	旧市内	直	市・主	1980	37	RC造	5,888.0	○	教育研修センター《その他施設》が入居
2	希望ヶ丘図書館	旧市内	直	市・主	1990	27	RC造	622.1	-	
3	安積図書館	安積	直	市・主	1991	26	RC造	2,418.5	○	安積行政センター《庁舎等》が入居
4	富久山図書館	富久山	直	市・主	1993	24	RC造	2,466.8	○	富久山行政センター《庁舎等》が入居
5	中央図書館緑ヶ丘分館	旧市内	直	市・副	1997	20	RC造	(103.4)	-	緑ヶ丘ふれあいセンター《集会施設》に入居
6	中央図書館富田分館	富田	直	市・副	1983	34	RC造	(26.0)	-	富田公民館《集会施設》に入居
7	中央図書館大槻分館	大槻	直	市・副	2009	8	RC造	(80.0)	-	大槻ふれあいセンター《集会施設》に入居
8	中央図書館三穂田分館	三穂田	直	市・副	1987	30	RC造	(95.0)	-	三穂田公民館《集会施設》に入居
9	中央図書館逢瀬分館	逢瀬	直	市・副	1989	28	RC造	(56.0)	-	逢瀬コミュニティセンター《集会施設》に入居
10	中央図書館片平分館	片平	直	市・副	1996	21	RC造	(36.0)	-	片平ふれあいセンター《集会施設》に入居
11	中央図書館喜久田分館	喜久田	直	市・副	1997	20	S造・SL造	(71.0)	-	喜久田ふれあいセンター《集会施設》に入居
12	中央図書館日和田分館	日和田	直	市・副	1989	28	RC造	(67.0)	-	日和田公民館《集会施設》に入居
13	中央図書館湖南分館	湖南	直	市・副	1978	39	RC造	(39.0)	-	湖南公民館《集会施設》に入居
14	中央図書館熱海分館	熱海	直	市・副	1965	52	S造・SL造	(31.0)	-	2018年度に新設する熱海多目的交流施設《集会施設》に入居
15	中央図書館田村分館	田村	直	市・副	1995	22	RC造	(135.0)	-	田村公民館《集会施設》に入居
16	中央図書館西田分館	西田	直	市・副	2006	11	RC造	(96.0)	-	西田ふれあいセンター《集会施設》に入居
17	中央図書館中田分館	中田	直	市・副	2005	12	RC造	(80.0)	-	中田ふれあいセンター《集会施設》に入居
合計								11,395.3		

【凡例】

運営	直：直営 指：指定管理 委：運営の一部を委託（指定管理を除く）
所有	市・主：市所有建物等で単独施設又は複合施設若しくは兼施設主要施設 市・副：市所有建物等の複合施設又は兼施設で主要施設でないもの 借：市以外が所有する建物等を借用 他：リース、市以外が所有する建物等の入居部分のみ所有している場合等、その他の手法により調達した建物等
延床面積	市所有分の延床面積 (複合施設の場合は、専有部分を () 書きで表示し、合計面積に含まない)
建築年度	複数の棟がある場合は、主体となる建物の建築年度を表示
構造	RC：鉄筋コンクリート造 SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造 S・SL：鉄骨造・軽量鉄骨造 W：木造 CB：コンクリートブロック造 PC：プレキャストコンクリート造
延床面積	市所有分の延床面積 (複合施設の場合は、専有部分を () 書きで表示し、合計面積に含まない)
耐震	○：施設の耐震化対象の全ての棟が対応済 △：施設の耐震化対象の棟のうち一部が対応済 ×：未対応 -：耐震化対象となる棟がない施設

② 施設配置図



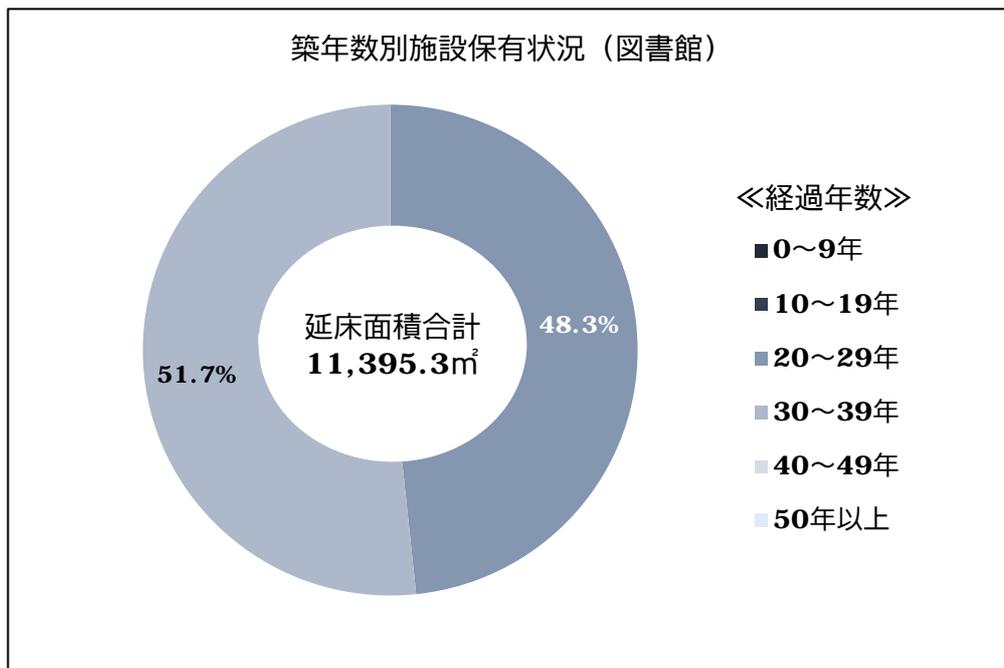
-  鉄道
-  高速道路
-  河川（阿武隈川）
-  国道・主要地方道
-  図書館



(2) 老朽化の状況

単独で建設された図書館は中央図書館と希望ヶ丘図書館の2館ですが、中央図書館は築30年以上、希望ヶ丘図書館については築20年以上と施設の老朽化が進んでいるため、今後改修費のさらなる増加が予想されます。

なお、本計画中に築50年に達する施設として中央図書館熱海分館がありますが、新設する熱海多目的交流施設へ入居予定となっております。



(注1) 市所有建物等のみ対象。棟単位で算出し、施設単位ではありません。

(注2) 複合施設は、主要施設の施設類型区分の面積に算入

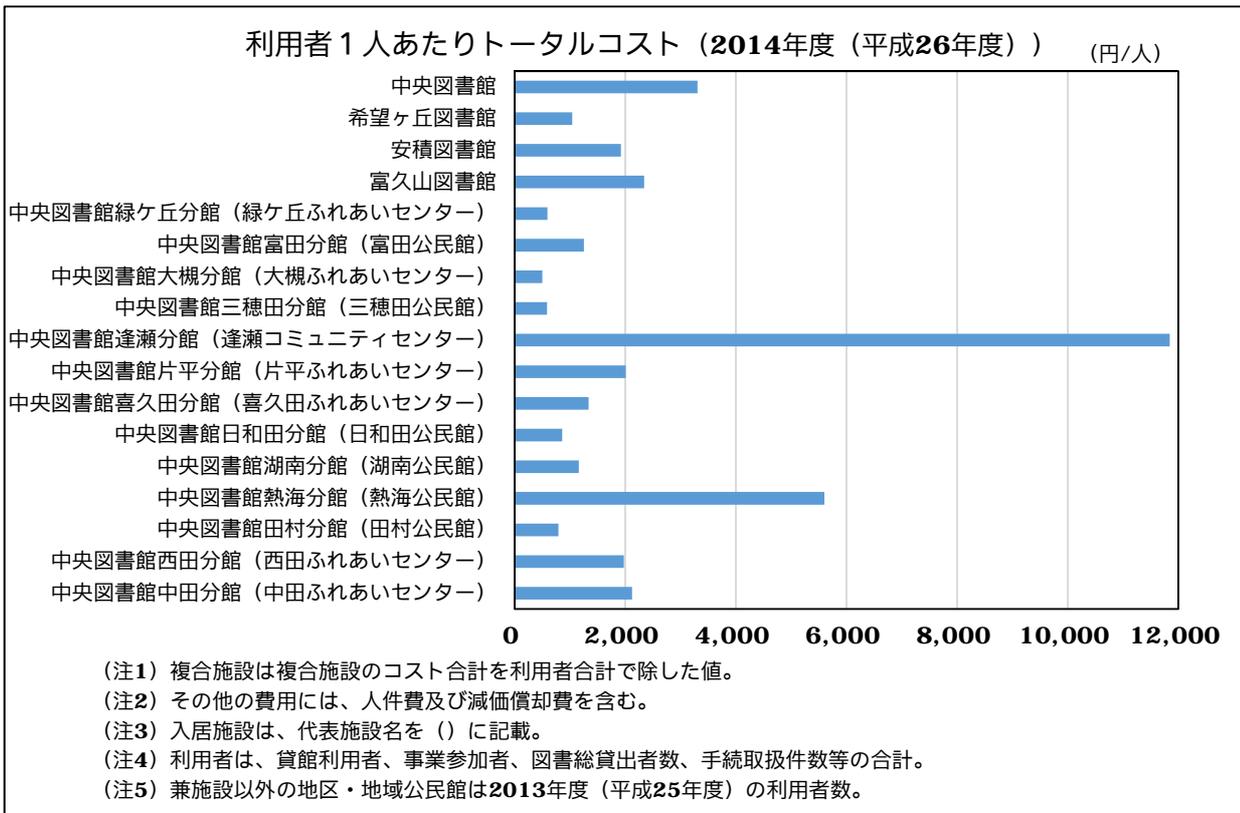
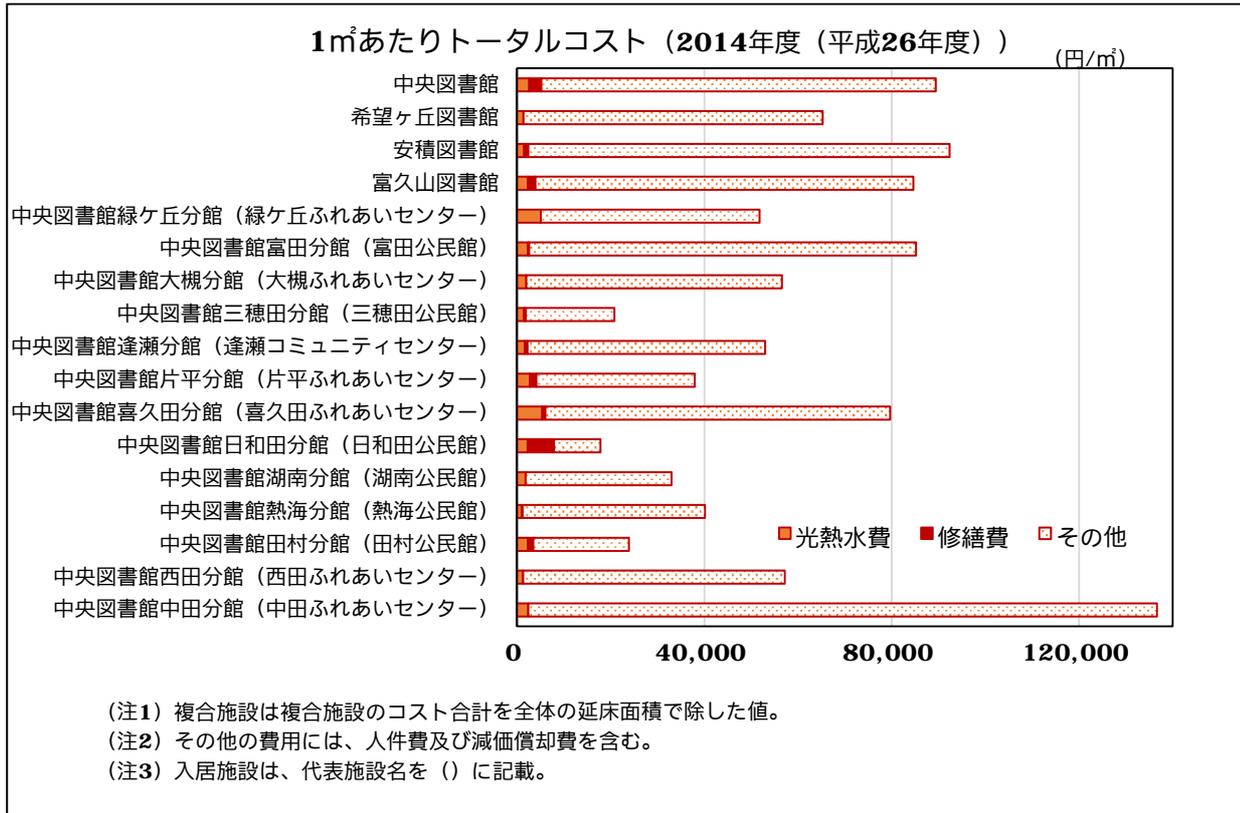
(注3) 2015年3月31日時点

(3) 利用状況・利用見込み

現在施設の利用者増減率は、一部の施設を除き減少傾向にあります。
 また、利用見込み（利用圏域内の人口推計）は、旧市内と一部の地域を除き概ね減少傾向で、その減少程度は地域により大きく差があります。一方、喜久田地域は現状のまま推移した場合、現在の1.5倍以上に大きく増加する見込みです。

No	施設名称	利用圏域	利用状況（貸出人数）			利用見込増減率	備考
			2012	2014	増減率		
1	中央図書館	全域	147,702	154,802	5%	-12%	総貸出者数（人）
2	希望ヶ丘図書館	旧市内	41,608	38,964	-6%	6%	総貸出者数（人）
3	安積図書館	安積	50,121	46,747	-7%	5%	総貸出者数（人）
4	富久山図書館	富久山	51,483	48,157	-6%	7%	総貸出者数（人）
5	中央図書館緑ヶ丘分館	旧市内	8,955	9,995	12%	6%	総貸出者数（人）
6	中央図書館富田分館	富田	330	194	-41%	21%	総貸出者数（人）
7	中央図書館大槻分館	大槻	11,111	10,839	-2%	-6%	総貸出者数（人）
8	中央図書館三穂田分館	三穂田	1,937	1,805	-7%	-37%	総貸出者数（人）
9	中央図書館逢瀬分館	逢瀬	44	16	-64%	-41%	総貸出者数（人）
10	中央図書館片平分館	片平	118	109	-8%	-30%	総貸出者数（人）
11	中央図書館喜久田分館	喜久田	5,431	4,738	-13%	56%	総貸出者数（人）
12	中央図書館日和田分館	日和田	2,734	2,895	6%	2%	総貸出者数（人）
13	中央図書館湖南分館	湖南	483	295	-39%	-59%	総貸出者数（人）
14	中央図書館熱海分館	熱海	394	95	-76%	-45%	総貸出者数（人）
15	中央図書館田村分館	田村	3,975	4,929	24%	-2%	総貸出者数（人）
16	中央図書館西田分館	西田	2,395	2,618	9%	-32%	総貸出者数（人）

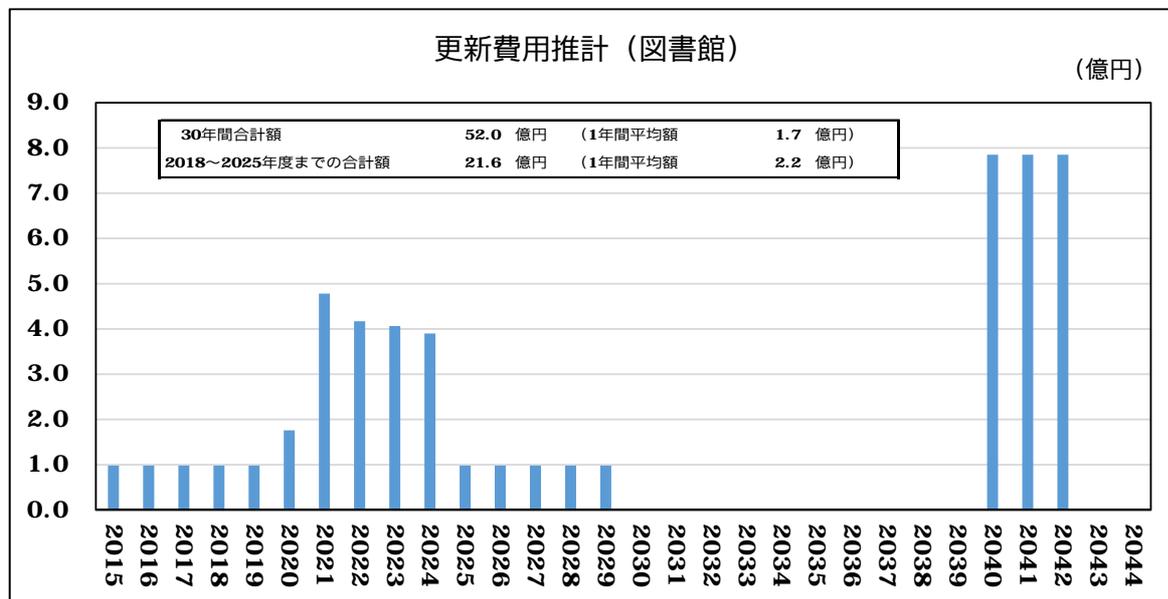
(4) トータルコスト



(注) トータルコストは、建物等の管理・運営に要する経費で、人件費、光熱水費、修繕費（維持補修以外の建設工事費を含まない）、減価償却費、その他の経費の合計額
 なお、人件費は、2014年度（平成26年度）決算における職種ごとの1人あたりの平均額を使用
 正職員 : 7,791千円/人 再任用（短時間）職員 : 3,200千円/人
 常勤嘱託職員 : 3,491千円/人 非常勤嘱託職員 : 2,686千円/人

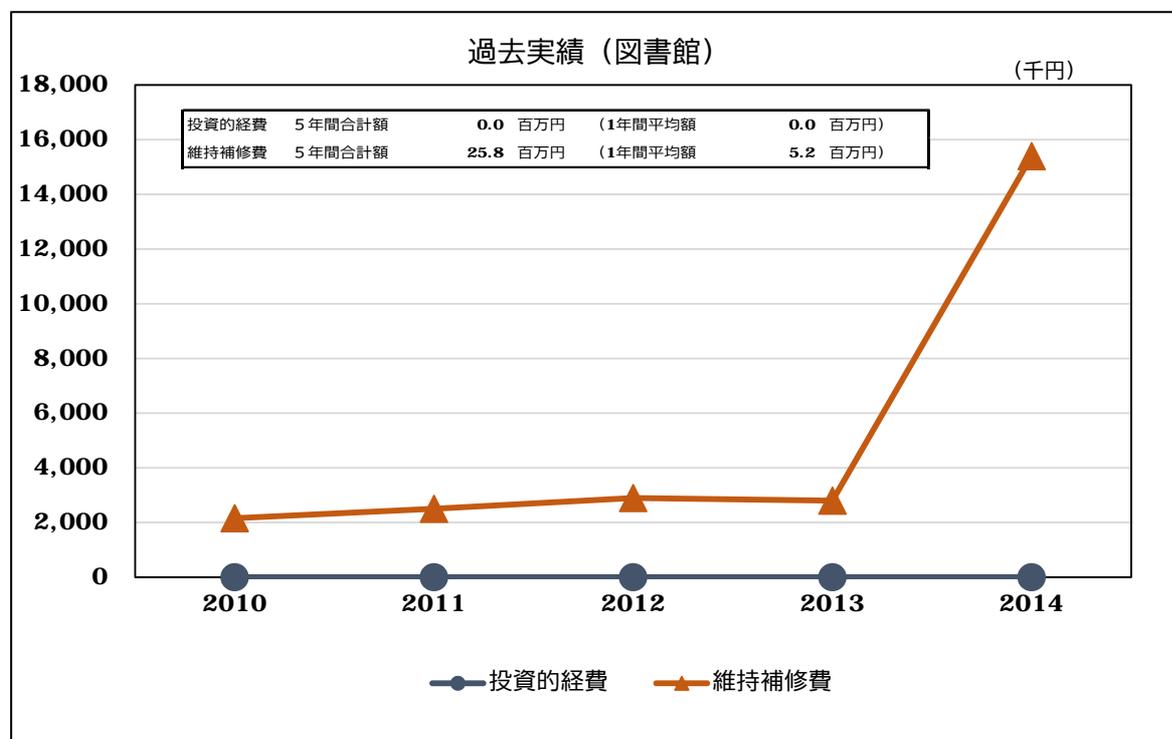
(5) 更新費用の推計

公共施設等総合管理計画策定時点の図書館を現状のまま維持し続ける場合に必要な更新費用は、**30年間の合計で約52.0億円**となる見込みであり、**2025年度（平成37年度）**までに要する費用は約**21.6億円**にのびります。



(注) 総務省ウェブサイトで公表されている更新費用試算ソフトを使用

(6) 過去実績（投資的経費・維持補修費）の推移



(注1) 災害復旧費を含まない。

(注2) 投資的経費は、各施設に関連する予算科目の細々目事業の工事請負費（単独事業費・補助事業費）、維持補修費は工事請負費（維持補修）・修繕費を集計

第3章 施設類型別マネジメント方針

(1) 施設の役割

図書館法に則り、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、市民の利用に供し、その教養・調査研究・レクリエーション等に資することを目的としており、多種多様な資料を提供することにより、市民の「知る権利」を保障し、個々の課題解決や生涯学習を支援しています。

また、視聴覚ホールについては、貸館により市民の活動の場を提供するとともに、自主事業により読書に親しむ機会の提供等を図ります。

施設種類	設置目的	役割
中央図書館	市内の図書館サービス及び読書計画の基幹施設	○市内の各図書館の統括 ○図書館システムの管理・構築及び読書活動推進の計画・立案 ○県立図書館及び市内外の公立図書館・学校図書館並びに図書館協議会との連携
各地域図書館	全地区の住民への図書館サービスの普及	○比較的管内人口が多い地域における広範な図書館サービスの提供 ○中央図書館の補完的役割
図書館分館		○各地域に密着した図書館サービスの提供 ○地域図書館同様、中央図書館の補完的役割を担う。

(2) 現状と課題

- ① 中央図書館・希望ヶ丘図書館は、部分的な補修で対応していますが、大幅に耐用年数を過ぎ、早急な改修等が必要
- ② 視聴覚ホールの舞台設備や音響機器等は老朽化が進み、更新が必要ですが、稼働率が減少傾向にあることから、更新内容（必要な設備の再検討を含む）の見直しが必要

(3) 今後の施設のあり方

既に老朽化が進行している施設もあることから、**2025年度（平成37年度）**までに築**50年**に達する施設を優先的に、当該施設又は近隣施設の改修等の時期に合わせ、具体的な検討を開始します。

検討にあたっては、公共施設等総合管理計画に基づき、施設の長寿命化、維持管理コストの縮減、施設の最適化及び利用者の安全確保に取り組みます。

また、最適化については、地域の特性を考慮するとともに、使用しなくなった建物及び土地については、郡山市公有資産活用ガイドラインに基づき、有効活用を図ります。

① 施設の長寿命化

法定点検及び日常点検により得たデータ及び施設老朽化状況をもとに予防保全による計画的な改修を進めます。

なお、特に市内図書館ネットワークの拠点となっている施設（中央図書館）から優先的に長寿命化を図ります。

目標使用年数	大規模改修周期
80年	30～40年
長寿命化前の更新費用見込 (全類型合計・普通会計分)	長寿命化後の更新費用見込 (全類型合計・普通会計分)
約5,193億円	約4,292億円 (△901億円)

※目標使用年数は公共施設等総合管理計画の長寿命化目標による。

※大規模改修には、故障等による修繕や設備の交換を含まない。

② 施設の維持管理コストの縮減及びPPP（官民連携）の推進

施設の改修時期に合わせて省エネを進めるとともに、郡山市PPP（官民連携）導入指針に基づき、指定管理者制度や包括外部委託をはじめとしたPPPの積極的な導入により、維持管理コストの縮減を図ります。

また、施設の大規模改修や更新の整備手法を検討する際には、PFI（※）ガイドラインに基づく導入可能性調査を踏まえ、PFI等の積極的な導入を検討します。

※ PFIとは公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用することで、効率化やサービスの向上を図る公共事業の手法をいう。

③ 施設の最適化

社会ニーズの変化の中で現状に適した施設のあり方や位置付けを検討しながら、機能の確保及び利便性の向上を図ります。

特に、図書館機能のうち予約図書の貸出・返却等独自に施設を持つ必要のない機能については、ICT化を進め、施設を前提としないサービス提供の拡大を検討するとともに、施設の大規模改修・更新の際には、周辺地域における他施設タイプの施設との複合化や類似機能（貸館等）の集約化を検討します。

また、施設の更新は既存施設の規模の範囲内とし、新たに施設を設置する必要が発生した場合においても、既存施設への入居（複合化）等を前提に検討します。

なお、施設の大規模改修や更新をする際には、多様な利用者を考慮しユニバーサルデザインに配慮します。

最適化による削減目標値 (全類型合計・普通会計分)
約170億円 (延床面積換算 △4.5%)

※削減目標値は公共施設等総合管理計画の総量縮減目標による。

※上記目標値には、資産活用・維持管理費の縮減による効果額を含む。

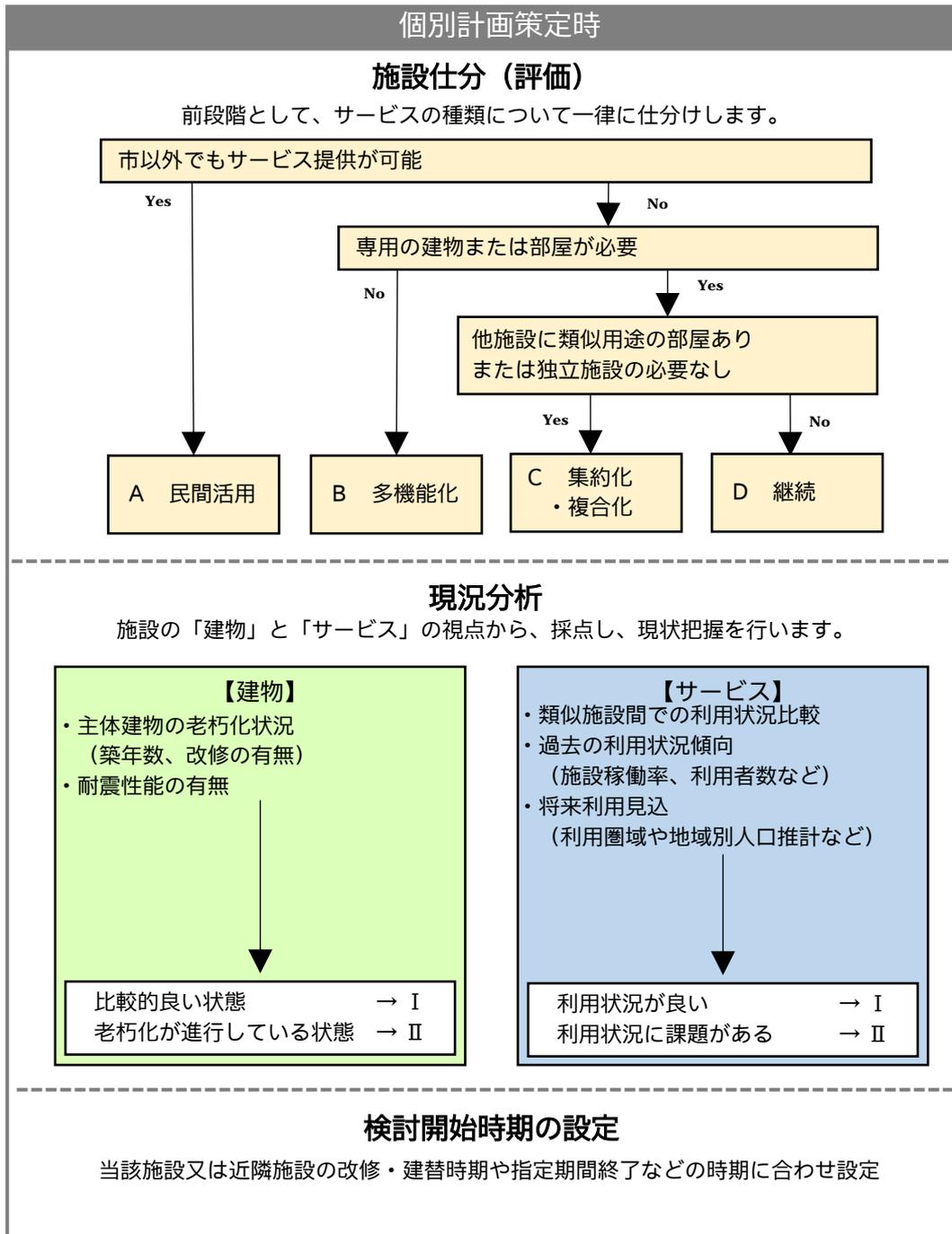
④ 利用者の安全確保

公民館内に設置している図書館分館を除き、2017年度（平成29年度）には「郡山市耐震改修促進計画」（2016年（平成28年）3月）に基づく耐震化が完了しますが、老朽化等により危険性が認められた施設は速やかに応急措置や早期の除却等を検討します。

(4) 個別施設方針・検討開始年度

ここで示す方針は、施設の最適化の検討にあたり、施設の建物・サービスの現状分析を踏まえ、個々の施設の長期的な検討の方向性を示します。

具体的な実施方法については、検討開始年度が到来した際に、あらためて詳細な現況分析を行うとともに、住民や利用者との意見交換を踏まえ、検討していきます。



検討開始時期到来後

最新の現況分析や必要な点検診断を行い、住民や利用者とともに、具体的な方針を検討

<具体的な検討・整備の流れ>



<方針検討のイメージ>

		A 民間活用	B 多機能化	C 集約化 複合化	D 継続
↑ I 建物 ↓ II	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスのあり方を見直し ・見直し内容により、建物の継続利用か用途変更、資産活用を検討 	管理運営の民間活用(※1)を検討	建物の用途変更や資産活用を検討 施設機能の移転を検討	他施設との複合化を検討	維持管理コストの縮減などを検討
	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスのあり方を見直し ・見直し内容により、建物の除却又は改修、建替を検討 	建物の改修、建替、管理運営の民間活用(※2)を検討	建物は除却を検討 施設機能の移転を検討	建物の改修、建替とともに他施設との複合化を検討	建物の改修、建替とともに維持管理コストの縮減を検討



※1 業務委託、包括委託、指定管理者制度、民営化など

※2 ※1のほか、デザインビルド（民間事業者に設計、建設を一括して発注する方式）、PFIを含む。

＜＜個別施設方針＞＞

No	施設名称	利用 圏域	施設 所管課	現状分析		評価	検討の方向性	検討開始 年度	備考
				建 物	サ ー ビ ス				
1	中央図書館	全域	中央図書館	I	I	A：民間活用	本施設又は近隣施設の改修・建替等の時期に合わせて、管理運営や整備手法を検討の上、財源の多様化を図る。	2023	
2	希望ヶ丘図書館	旧市内	中央図書館	I	I	A：民間活用	本施設又は近隣施設の改修・建替等の時期に合わせて、管理運営や整備手法を検討の上、財源の多様化を図る。	2018	
3	安積図書館	安積	中央図書館	I	I	A：民間活用	本施設又は近隣施設の改修・建替等の時期に合わせて、管理運営や整備手法を検討の上、財源の多様化を図る。	2018	
4	富久山図書館	富久山	中央図書館	I	I	A：民間活用	本施設又は近隣施設の改修・建替等の時期に合わせて、管理運営や整備手法を検討の上、財源の多様化を図る。	2018	
5	中央図書館緑ヶ丘分館	旧市内	中央図書館	-	I	C：集約化・複合化	既に他施設に入居している施設であり、当面現状を継続するが、建物改修・建替時にはニーズを踏まえ入居先を再検討する。	次期計画	
6	中央図書館富田分館	富田	中央図書館	-	I	C：集約化・複合化	既に他施設に入居している施設であり、当面現状を継続するが、建物改修・建替時にはニーズを踏まえ入居先を再検討する。	2018	
7	中央図書館大槻分館	大槻	中央図書館	-	I	C：集約化・複合化	既に他施設に入居している施設であり、当面現状を継続するが、建物改修・建替時にはニーズを踏まえ入居先を再検討する。	次期計画	
8	中央図書館三穂田分館	三穂田	中央図書館	-	I	C：集約化・複合化	既に他施設に入居している施設であり、当面現状を継続するが、建物改修・建替時にはニーズを踏まえ入居先を再検討する。	次期計画	
9	中央図書館逢瀬分館	逢瀬	中央図書館	-	II	C：集約化・複合化	既に他施設に入居している施設であり、当面現状を継続するが、建物改修・建替時にはニーズを踏まえ入居先を再検討する。	2018	
10	中央図書館片平分館	片平	中央図書館	-	I	C：集約化・複合化	既に他施設に入居している施設であり、当面現状を継続するが、建物改修・建替時にはニーズを踏まえ入居先を再検討する。	次期計画	
11	中央図書館喜久田分館	喜久田	中央図書館	-	I	C：集約化・複合化	既に他施設に入居している施設であり、当面現状を継続するが、建物改修・建替時にはニーズを踏まえ入居先を再検討する。	2018	
12	中央図書館日和田分館	日和田	中央図書館	-	I	C：集約化・複合化	既に他施設に入居している施設であり、当面現状を継続するが、建物改修・建替時にはニーズを踏まえ入居先を再検討する。	次期計画	

No	施設名称	利用 圏域	施設 所管課	現状分析		評価	検討の方向性	検討開始 年度	備考
				建 物	サ ー ビ ス				
13	中央図書館湖南分館	湖南	中央図書館	-	Ⅱ	C：集約化・複合化	既に他施設に入居している施設であり、当面現状を継続するが、建物改修・建替時にはニーズを踏まえ入居先を再検討する。	2018	
14	中央図書館熱海分館	熱海	中央図書館	-	Ⅱ	C：集約化・複合化	熱海多目的交流施設へ複合化する予定であるが、当該施設又は近隣施設の改修・建替時にはニーズを踏まえ入居先を再検討する。	※方針決定済	2018年度に新設する熱海多目的交流施設<<集会施設>>に入居
15	中央図書館田村分館	田村	中央図書館	-	Ⅰ	C：集約化・複合化	既に他施設に入居している施設であり、当面現状を継続するが、建物改修・建替時にはニーズを踏まえ入居先を再検討する。	2018	
16	中央図書館西田分館	西田	中央図書館	-	Ⅰ	C：集約化・複合化	既に他施設に入居している施設であり、当面現状を継続するが、建物改修・建替時にはニーズを踏まえ入居先を再検討する。	次期計画	
17	中央図書館中田分館	中田	中央図書館	-	Ⅱ	C：集約化・複合化	既に他施設に入居している施設であり、当面現状を継続するが、建物改修・建替時にはニーズを踏まえ入居先を再検討する。	2018	